

プレスリリース

iCONM/CHANGE 学術セミナーのお知らせ

新興技術の社会実装における ELSI/RII の重要性

報道関係者 各位

平素より大変お世話になっております。

下述のとおり、iCONM/CHANGE 学術セミナーを 9 月 14 日午前 10 時 30 分よりオンラインにて開催致します。講師に、松尾 真紀子 先生（東京大学公共政策大学院・未来ビジョン研究センター 特任准教授）をお迎えし「新興技術の社会実装における ELSI/RII の重要性」という演題でお話し頂きます。（演者のご略歴および講演要旨を後述しています）。

なお、オンラインでの開催となりますので、後述の要領にて事前登録のほどよろしくお願いたします。

記

日時：2023 年 9 月 14 日 10 時 15 分開場 10 時 30 分開演

場所：ZOOM によるオンライン開催

演題：新興技術の社会実装における ELSI/RII の重要性

講師：松尾 真紀子 先生（東京大学公共政策大学院・未来ビジョン研究センター 特任准教授）

事前申込み：<https://forms.gle/anwJCsystem4VQeTa36>

申込締切：2023 年 9 月 11 日 12 時

講師略歴：

東京大学大学院新領域創成科学研究科修了(2005年9月、国際協力学修士)後、東京大学大学院法学政治学研究科産官学連携研究員、東京大学公共政策大学院特任研究員、東京大学政策ビジョン研究センター特任研究員、特任助教、特任講師等を経て、2020年4月1日より現職。東京大学大学院新領域創成科学研究科博士(2016年3月、国際協力学)。



科学技術政策、リスクガバナンス、ELSI や RRI、食品・農業分野におけるバイオテクノロジー、バイオエコノミーに関する政策形成(特に国際動向)を中心に研究を進めている。

内閣府 日本医療研究開発機構(AMED) 審議会委員、厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 新開発食品調査部会 委員、ムーンショット型研究開発事業のアドバイザーなどを務める。業績の詳細は下記をご覧ください。

https://researchmap.jp/makiko_matsuo

講演要旨：

科学は社会に大きな恩恵をもたらす一方で、多様な社会影響をもたらすため、斬新な研究成果を生み出しても、それを社会導入する際に、思わぬ反発に直面したり、適切に対応するための制度や規範の欠如・社会的倫理観に追いついていない、といった状況に陥ることがしばしばある。こうしたことから、適切な社会実装を行う上では、研究開発に携わる担い手があらかじめ多様な社会影響(ELSI: Ethical, Legal, Social Implication、倫理的・法的・社会的含意/課題)を先取りして備え、責任ある研究イノベーションを展開すること(RRI: Responsible Research Innovation、責任ある研究イノベーション)が重要とされており、昨今は研究開発予算獲得の申請や社会へのアカウンタビリティの観点においてELSIの考慮が必須となりつつある。

本セミナーでは、イノベーションを実現する際のELSI/RRIという概念の重要性や実践上の課題について話題提供をする。なぜそもそもELSIの分析が必要なのか、ELSIが必要とされる背景について述べたうえで、国内外の政策的に研究開発の一環としてELSIの考慮が求められている現状を踏まえて、ELSIやRRIにかかわる検討事項(どのようなことを考慮するのか)と、実践上の課題、バイオの分野における多様な具体的な活動事例について紹介する。

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の100%出捐により昭和63年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) について

大学等が中心となって 未来のあるべき社会像 (拠点ビジョン) を策定し、その実現に向けた研究開発を推進するとともに、プロジェクト終了後も、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す文部科学省/JST の産学連携プログラム。前身の拠点形成型プログラムである、センター・オブ・イノベーション (COI) プログラムがコンセプトとして掲げる「ビジョン主導・バックキャスト型研究開発」を基軸とした制度設計を行ったことから、本プログラムの愛称を「COI-NEXT」ともいいます。知と人材の集積拠点である大学等のイノベーション創造への役割が増している中、これまでの改革により、大学等のガバナンスとイノベーション創出力の強化が図られてきました。今後、「ウィズ/ポストコロナ」の社会像を世界中が模索する中、我が国が、現在そして将来直面する課題を解決し、世界に伍して競争を行うためには、将来の不確実性や知識集約型社会に対応したイノベーション・エコシステムを「組織」対「組織」の産学官の共創 (産学官共創) により構築することが必要となります。

<https://www.jst.go.jp/pf/platform/outline.html>

プロジェクト CHANGE について

2022 年 10 月に COI-NEXT 共創分野・本格型に採択された「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点」をプロジェクト CHANGE と呼びます。「医工看共創が先導するレジリエント健康長寿社会の実現」をビジョンに掲げ、看護に携わる方々の支援と生活者の身体機能の維持を両輪として少子高齢社会の課題解決に繋がる道具やシステムの研究開発を行っています。川崎市産業振興財団が代表機関となり、ナノ医療イノベーションセンターを中核に、大学・企業に加え川崎市看護協会や国立医薬品食品衛生研究所、川崎市健康安全研究所など 36 機関が共創するプロジェクトです。

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/>

2023 年 8 月 31 日